

記者会見

2023年8月6日

「みんなの市民サミット2023とCivil7による共同声明」



渡部 朋子

特定非営利活動法人ANT-Hiroshima 理事長
みんなの市民サミット2023実行委員会 共同代表



堀内 葵

特定非営利活動法人国際協力NGOセンター(JANIC)
シニアアドボカシーオフィサー
Civil7 Steering Committee
G7市民社会コアリション2023 事務局



サーロー 節子



川崎 哲

NGOピースボート 共同代表
核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN) 国際運営委員



松原 裕樹

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 事務局長
みんなの市民サミット2023実行委員会 共同代表
Civil7 Steering Committee
G7市民社会コアリション2023 共同代表

1. 「市民の平和宣言2023」 趣旨

みんなの市民サミット2023とCivil7による共同声明

市民の平和宣言2023

「核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会」を私たちの手で創るために
市民社会から世界各国の首脳・市民に訴える「平和の再定義」



Civil 7

2. G7のエンゲージメントグループとは

G7 / Group of 7

首脳会合、閣僚会合、シェルパ会合、分野別作業部会



社会の様々な関係主体として、G7に対して、
エンゲージメントグループは
対話・政策提言・共同声明の発表などを行う。

B7 / Business 7
ビジネス



C7 / Civil 7
市民社会



Civil 7

L7 / Labour 7
労働組合



連合
日本労働組合総連合会

P7 / Pride 7
LGBTQ+・人権



S7 / Science 7
科学



T7 / Think 7
シンクタンク



W7 / Women 7
女性



Y7 / Youth 7
ユース



3. C7 (Civil 7) とは



Civil 7



C7 2023 website

<https://civil7.org/>

- C7 (Civil 7 : 市民社会) は、カナダ、フランス、ドイツ、イギリス、イタリア、日本、アメリカの7カ国のみならず、G20諸国やグローバルサウス等の国々とも連携し、**G7サミットの開催国の市民社会組織がその年のC7の活動を牽引**している。
- 2023年のG7広島サミットにおいては、2022年5月に国内のNPO・NGO等によって「**G7市民社会コアリション2023**」を立ち上げ、2023年4月25日時点で120団体・78名の会員から構成しC7を運営している。

4. G7市民社会コアリション2023とは

「G7市民社会コアリション2023」の組織概要

設立日	2022年5月10日（火）
設立目的	本会は、2023年に日本で開催されるG7サミット首脳会議および関連閣僚会合に、市民社会の声が反映され、2030アジェンダが掲げる「誰ひとりとり残さない社会」の実現に貢献できるよう、議長国である日本政府を含むG7各国政府に働きかけることを目的とする。
共同代表	木内真理子（特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 事務局長） 松原裕樹（特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 事務局長）
幹事団体	アジア太平洋資料センター（PARC）／SDGs市民社会ネットワーク／「環境・持続社会」研究センター（JACSES）／環境パートナーシップ会議（EPC）／関西NGO協議会／国際協力NGOセンター（JANIC）／GII/IDIに関する外務省/NGO定期懇談会／持続可能な開発に向けたジャパンユースプラットフォーム（JYPS）／DPI日本会議／日本NPOセンター／PIECES／ピースポート／ワールド・ビジョン・ジャパン／ひろしまNPOセンター 計14団体
監事	シャプラーニール＝市民による海外協力の会
会員	団体会員（120団体）、個人会員（78名） ※2023年4月25日時点
共同事務局	国際協力NGOセンター、SDGs市民社会ネットワーク
Webサイト	https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/



G7市民社会コアリション2023

5. C7 (Civil 7) の運営体制と対話活動

C7の活動としては、G7シェルパ（G7サミット担当外務審議官）との対話、ドイツC7からの引き継ぎ式、日本C7キックオフイベント等を行うと共に、2022年12月に18名（15か国）による運営委員会（Steering Committee）を設立した。



世界中の市民社会組織を代表するC7 (Civil 7) の Steering Committee (運営委員)



Mariko Kinai 
World Vision Japan



Hiroki Matsubara 
Hiroshima NPO Center



Aoi Horiuchi 
Japan NGO Center for
International Cooperation
(JANIC)



Anke Kurat 
VENRO



Jürgen Maier 
German Forum on
Environment and
Development



Zahra Bazzi
Arab NGO Network for
Development (ANND)



Catherine Nyambura 
Young Women Driving
Change Collective



Neth Dano
ETC Group



Jean-Luc Simon 
Disabled Peoples'
International European
Region



Emilia Reyes 
Equidad de Genero



Valeria Emmi 
GCAP, Italy 



Carelle Mang-Benza 
Cooperation Canada



Ben Bestor 
Interaction, US



Sandra Martinson
BOND, UK



Jamila Asanova 
Asia Development Alliance
(ADA)



Harjeet Singh
Climate Action Network



Patricia Miranda
Latindadd



Dereje Alemayehu 
Global Alliance for Tax
Justice

6. C7 (Civil 7) の政策提言「ワーキンググループの提言作成」

政策提言書を作成するための「核兵器廃絶」「気候・環境正義」「公正な経済への移行」「国際保健」「人道支援と紛争」「しなやかで開かれた社会」の6つのワーキンググループを構成し、72ヶ国（うち54か国はグローバルサウス）から700名以上が参加し議論した。



6つの社会課題テーマの政策提言書



CLIMATE AND ENVIRONMENTAL JUSTICE
気候・環境正義



HUMANITARIAN ASSISTANCE AND CONFLICT
人道支援と紛争



ECONOMIC JUSTICE AND TRANSFORMATION
公正な経済への移行



OPEN AND RESILIENT SOCIETIES
しなやかで開かれた社会



GLOBAL HEALTH
国際保健



NUCLEAR DISARMAMENT
核兵器廃絶

7. C7 (Civil 7) の政策提言「岸田総理への手交」

2023年4月12日（水）に、C7を代表して日本及び各国の市民社会代表者10名が首相官邸を訪問し、G7広島サミットで議長を務める岸田文雄内閣総理大臣と対話し、「C7 Communique 2023（C7コミュニケ2023：政策提言書）」を手交した。



8. C7 (Civil 7) 活動「C7サミットの開催」

2023年4月13日（木）～14日（金）に東京プリンスホテル及びオンラインで「Civil 7 Summit 2023」を開催し、山田賢司外務副大臣へのC7政策提言書の手交、G7サブシェルパを務める中村和彦外務省経済局審議官との対話、分野別ワーキンググループ分科会、エンゲージメントグループの連携対話、レセプション等を実施した。



9. 全国の閣僚会合の開催地・スケジュール

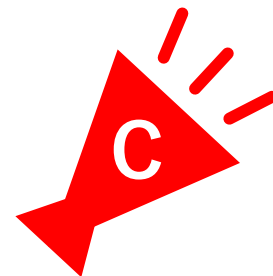


10. 閣僚会合開催地の市民社会の活動

地域	日程	行事名
札幌市	4/15,16	G7/アースデイ オープンフォーラム北海道
新潟市	5/8	新潟から「自分と地域と世界を大切にできるお金の使い方」を考える円卓会議
津市	6/3	G7三重・伊勢志摩交通大臣会合応援事業「市民の交通サミット～すべての人の『移動の自由』が保証されるまちをつくる」
堺市	4/1	分断が進む社会において、市民社会の役割とは ※10月に向けては検討中
岡山市	4/21	G7倉敷労働雇用大臣会合開催連動企画「勝手に前夜祭」～「働く」に関する課題をもっと知ろう・考えよう～
広島市	4/16,17	みんなの市民サミット2023 ～G7広島サミットに市民の声を届ける～
長崎市	5/12	長崎プラネタリーヘルス専門家会合「COP27およびCOP15からG7広島サミットへ：地球規模で生じている気候変動、環境、生物多様性と人間の健康に関する課題解決に向けた新しいパートナーシップ」
宮崎市	3/22	G7に問う グローバルな食料安全保障と健康で持続可能な「食と農」 = G7宮崎農業大臣会合に向けて =

11. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

みんなの市民サミット2023



目的

G7広島サミットへの対話・提言を通して、
「核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会づくり」
を私たちの手で創る。

G7広島サミットを活かす3つの方針

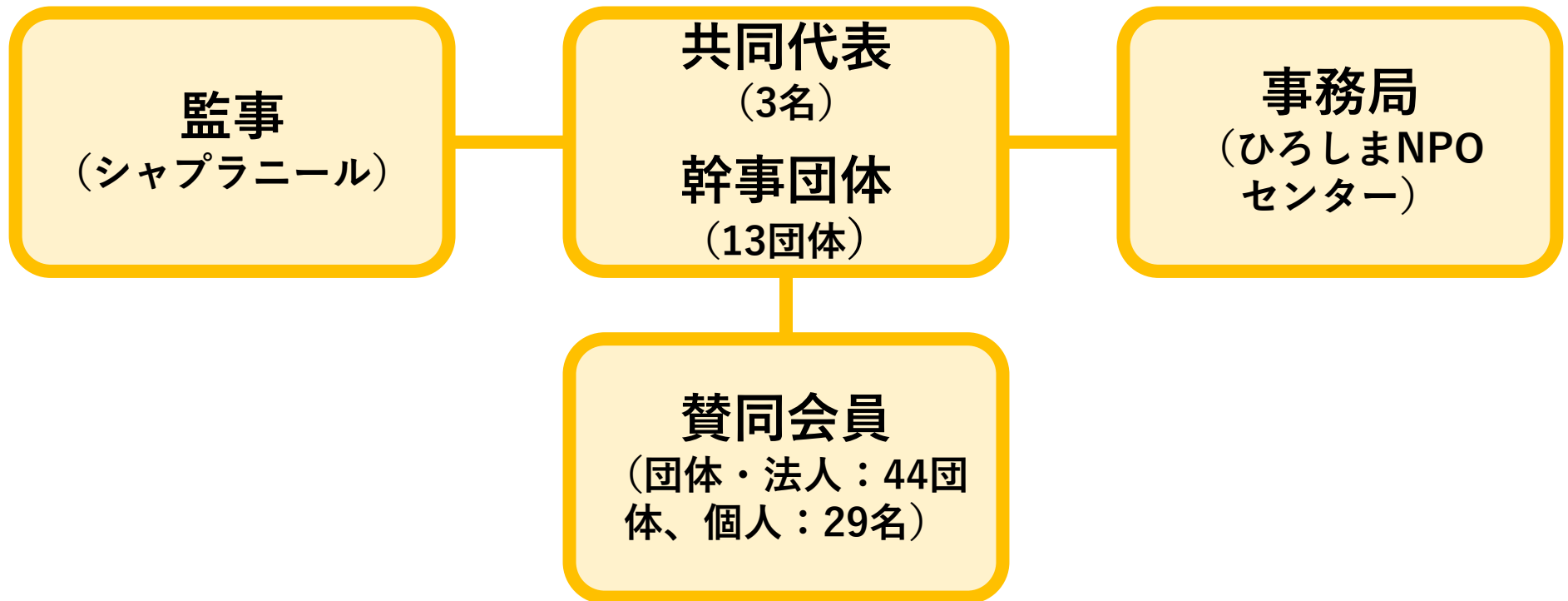
市民に
G7サミットや
社会課題のことを
わかりやすく
伝える

広島の
市民活動を
活性化する
・ 広げる

G7サミットに
広島の市民社会
からの提言を
届ける

11. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

みんなの市民サミット2023実行委員会の体制



<みんなの市民サミット2023の専用Webサイト>

<https://hiroshimacsummit2023.mystrikingly.com/>

11. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

実行委員会の幹事団体

- ① 特定非営利活動法人ANT-Hiroshima／渡部朋子 **【共同代表】**
- ② 特定非営利活動法人環境パートナーひろしま／河野宏樹
- ③ 特定非営利活動法人ひろしまジン大学／平尾順平
- ④ Social Book Cafeハチドリ舎／安彦恵里香
- ⑤ 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター／松原裕樹 **【共同代表】**
- ⑥ 視覚障害者団体Blindクリエイター【お好みーズ】／金羽木百合枝 **【共同代表】**
- ⑦ 広島G7芸術文化コンソーシアム／積山ミサ
- ⑧ 特定非営利活動法人市民活動センター西日本／胡田倫宏
- ⑨ RiverDo!基町川辺コンソーシアム／岡本泰志
- ⑩ 平和創造クラブ「ひまわり」／伊藤さえみ
- ⑪ 広島被爆者団体連絡会議／田中聰司
- ⑫ 核政策を知りたい広島若者有権者の会／高橋悠太
- ⑬ 特定非営利活動法人シャプラニール＝市民による海外協力の会／小松豊明

11. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

2023年4月16日（日）～17日（月）に広島国際会議場で「みんなの市民サミット2023」を開催し、2日間で延べ700名を超える国内外からの市民が参加し、G7サミットや社会課題について立場や分野を横断した学びあいを行い、C7政策提言書の後押し（核廃絶に関する広島からの声）に繋がった。



11. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

市民サミットの開会内容



- C7の活動報告
- 高校生やアーティストによる発表
- 国内外のNPO/NGOや市民の交流
- みんなのこえ写
- 17テーマの分科会
(核廃絶、気候変動、子育て、G7の方向性、ユース、紛争、SDGs、公共調達、格差、防災など)
- みんなの市民サミット2023共同宣言の発表

11. 広島での「みんなの市民サミット2023」の開催

市民サミットの次第

プログラム Program

Day 1 4月16日(日)

10:30～12:30 オープニングセッション / 会場：フェニックスホール

※オンライン配信 (zoom)・日英通訳・手話通訳・予約筆記あり

開会宣言

みんなの市民サミット 2023 実行委員会 共同代表

オープニングセレモニー

シンガーソングライター HIPPIY

来賓挨拶

広島県知事 湯崎 英彦
広島市長 松井 一賢

C7 サミット活動報告

Civil 7 Steering Committee Members・Working Group Coordinators
外務省 国際協力局 審議官 日下部 英紀

ベースノーツスピーチ

「辺野古」県民投票の会 元代表／一橋大学大学院 法学研究科博士課程 元山 仁士郎
一般社団法人 NO YOUTH NO JAPAN 代表 能條 桃子

共催団体挨拶

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム 共同代表理事 上島 安裕

12:30～14:00 ランチセッション / 会場：フェニックスホール

※オンライン配信 (zoom)・日英通訳・手話通訳・予約筆記あり

紙芝居「原爆の子 さだ子の願い」 安芸府中高校 折り鶴プロジェクト有志
「平和の音楽と映像を通して核兵器廃絶を訴える」 木本いづ美 YAMATO

14:30～17:00 分科会

Day 2 4月17日(月)

9:30～12:00 分科会

12:00～14:00 ランチセッション / 会場：ヒマワリ

14:00～17:00 クロージングセッション / 会場：ヒマワリ

※オンライン配信 (zoom)・日英通訳・手話通訳・予約筆記あり

分科会報告 & 全員参加型ディスカッション
みんなの市民サミット 2023 共同宣言
閉会挨拶

分科会 Breakout Session

日	NO	テーマ	会場
4月16日(日)	1	C7 核廃絶 WG 国際コーディネーターと国内コーディネーターによる政策提言への道のり	メモリアルホール 広島平和記念資料館 東館 地下1階
	2	「気候変動の現在地」気候学者 江守正多さん講演会と 350Japan みんなの温暖化会議	おりづるタワー 5階 大会議室
	3	「ヒロシマの孫たち」上映会 & 子どもたちからのメッセージ	おりづるタワー 3階 第3会議室
	4	日本の子育て 海外の子育て	※オンライン開催
	5	もうひとつのサミット ～G7の方向性、そっちで大丈夫そ？～	ダリア1
	6	Youth Summit 2023 in 広島 ～Redefine our future through sustainability～	コスモス1
	7	シリア大地震の被災者が直面する「三重苦」と届ける希望 ～紛争・制裁、そして震災～	コスモス2
	8	新型コロナが映すいのちの格差 I 知的財産権が生む不平等 II 認知症の人に起こったこと	ラン1
	9	地球一周の旅から見えてくるSDGs ～ミツバチワークショップ～	ラン2
4月17日(月)	10	世界のヒバクシャとつながろう ～世界の核被害者の援助と国際協力を見据えて～	メモリアルホール 広島平和記念資料館 東館 地下1階
	11	公共調達における社会責任調達を推進するために	ダリア1
	12	気候正義と平和：G7に反映されない声はどこに	ダリア2
	13	カードゲームを通してSDGsを考える ～企業・自治体・地域のつながり～	コスモス1
	14	見過ごされた歴史 - Hiroshima's Overlooked History	コスモス2
	15	地域のつながりが災害を乗り越える力！ ～広島からこれからの防災を考える～	ラン1
	16	『ラリー』と『ロビング』のあいだで ～市民社会とG7の関わりを問い直す～	ラン2
	17	日本における格差の原因と正体を探る ～NPO・市民活動の現場からの考察～	会議運営事務室5・6

交流タイム Mingling & Networking

日時	テーマ	会場
4/16(日) 12:00～17:00	「W7 サミット 2023」オンライン上映 4月16日(日)に東京で開催するWomen7 サミット 2023のオンライン配信を上映します。	サクラ
4/16(日) 12:30～17:00	みんなのこえ写(みんなのこえ) ソー写ルグッド株式会社 市民の「こえ(声)」を写真で可視化するプロジェクト、撮影コーナーにて参加ください。VR空間での展示や交流も楽しむことができます。	
4/17(月) 9:30～17:00	参加者同士の情報交流コーナー 情報展示スペースは、団体や活動を紹介する資料の配架や情報収集に活用いただくことができます。	

12. 首脳会合に向けた活動

NGO・NPO Presents

G7広島サミットに向けた記者会見・イベント・アクションの開催

【日 時】 2023年5月18日(木)～21日(日)／9:00～21:00

【場 所】 NGOスペース（広島市中区基町5-61 広島市青少年センター）



- * 4日間で**27の記者会見**、**13のイベント**、**11のアクション**を開催
- * エンゲージメントグループとして、国際メディアセンター（IMC）の**アクセスパスを68枚取得**（C7：38、T7：5、W7：10、Y7：15）

※期間中のプログラムの詳細は、「G7市民社会コアリション2023」の
Webサイト及び別紙プレスリリース資料を参照

<https://g7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/2023g7-ngospace>

12. 首脳会合に向けた活動

C7によるG7広島サミット首脳コミュニケの評価



- 被爆者や核兵器禁止条約についての言及はなく、自分たちの核兵器を「防衛目的」また「抑止目的」として正当化している。
- 「脆弱なグループのレジリエンス強化支援を拡大し続ける」ことや「最も脆弱な国々に損失と損害を回避・最小化・対処するための支援を拡大する」ことへの言及はあったが、化石燃料等についての記述が不十分である。
- 「経済安全保障」が強調され、債務再編のための具体的コミットがない。
- 知的財産権に対処できず、国際保健分野での資金・技術の貢献もない。
- 食糧危機を含む人道危機への210億ドルの支援表明を評価するも、人道支援の実施に不可欠な「現地関係者や現地のリーダーシップ強化」についての言及がない。
- 世界的に問題視されている「縮小する市民社会スペース」に対して、G7が何も政治的意思を示しておらず、民主主義に関する議論ではほとんどが他国との情報戦の話になっていた。

13. 市民の平和宣言2023

みんなの市民サミット 2023 と Civil7 による共同声明

「市民の平和宣言 2023」

2023年8月6日
みんなの市民サミット 2023
Civil7

この「市民の平和宣言 2023」は、日本及び世界の市民社会組織が、G7 広島サミットの経験をふまえて考えた平和について、世界各国のリーダーや市民に訴えかけ、共に実現していくことを目的に発信します。

私たちは G7 及び世界各国のリーダーに対して、核兵器廃絶のための決断と行動を求めます。

今年、G7 広島サミットが日本で開催されました。私たちは、国内外の市民社会と連帯して、「みんなの市民サミット 2023」を広島で開催し、核兵器廃絶をはじめ、気候変動、紛争、格差、G7 の方向性、ジェンダー、障害者、子育て、ユース、SDGs、公共調達、広島史、防災など、さまざまな社会課題の解決に向けて、多くの市民と話し合いました。また、G7 プロセスの公式参画グループ（エンゲージメントグループ）である C7（Civil7：市民社会）においては、72ヶ国 700名を超える市民社会の代表と核兵器廃絶を含む6つのワーキンググループを設けて、G7に向けた対話と政策提言を行いました。

しかし、G7 首脳から発出された「核軍縮に関する G7 首脳広島ビジョン」は、私たち市民や被爆者が望んだものではなく、大きな失望と落胆を覚えます。G7 広島サミットに評価を下すのは、時期尚早かもしれません。評価に対する様々な意見があることも市民社会が大切にしている多様性の現れです。しかしながら、G7 広島サミットで明らかになったのは、G7 首脳が見ている現実が核兵器廃絶でないことや、ウクライナとロシアの停戦ではなく武器供与について話し合われたことでした。また、広島被爆者 7 団体は、核攻撃を指令する機器を入れた靴「核のボタン」が広島平和記念公園にまで隠れなく持ち込まれたことが、原爆犠牲者の慰霊と核兵器廃絶の願いを踏みにじる被爆地への冒瀆、侮辱であると、遺憾の意を表明しています。

これは民主主義のプロセスから市民が疎外されており、被爆者の意思はないがしろにされていると言わざるを得ません。更に、6月に広島平和記念公園とパールハーバー国立記念公園の姉妹公園協定が行政のみの即断で締結され、この経緯や情報を多くの市民が理解できておらず、被爆地広島としての平和行政に対しても危機を感じます。

これらの結果として核兵器廃絶のプロセスは後退しており、一日も早い核兵器廃絶を長きに亘り訴え続けてきた市民としては、現状を容認できません。私たちは引き続き、核軍縮から核廃絶へのビジョンづくりと核兵器禁止条約への署名・批准を日本政府及び核兵器保有国に求めます。そして、「核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会」を実現するために、市民社会は政府との対話と政策に協力する意思を持ち続けます。

世界中の市民の皆さんと共に考え行動したいことがあります。遠くの平和だけでなく足元の平和を見つめ直して、私たちが望む平和を再定義し、その実現に向けて行動しましょう。

私たちは核兵器廃絶を望む一方で、9つの国が核兵器を保有し、地球上には推定1万2千発の核弾頭が存在します。そして、日本を含む多くの国が米国等の核の傘の下にいる現実があります。また、核間

題は安全保障の課題だけではありません。核実験や原子力発電所事故によって被害を受けている市民が世界中にいるなど、私たちは核そのものの脅威と市民が隣り合わせにいるという複雑かつ深刻な問題を抱えています。

また、私たちは C7 として G7 に対し公式に、核兵器廃絶、気候と環境正義、公正な経済への移行、国際保健、人道支援と紛争、しなやかで開かれた社会などについて政策提言を行いました。しかし、残念ながら G7 広島首脳宣言には市民社会の視点の多くは取り入れられず、市民としては評価できるものではありませんでした。それは同時に、私たち市民社会が未熟で、社会をよりよくする力や方法をまだ十分に備えていないことを反省する機会でもあり、私たちはこのプロセスを改善し、重ねていくことを決意しました。だからこそ、今一度、市民が考える「平和」を再定義することが、その第一歩です。

原子爆弾が投下されて 78 年を迎える広島と長崎において、平和記念式典で首相や市長が世界へ発する平和宣言は、真に私たち市民の声を代弁しているのでしょうか。私たち市民はどのような平和を望むのか、それを実現するためには何が必要なのか、一緒に考え、声を上げて、行動しましょう。

「核のない、誰ひとり取り残さない、持続可能な社会」を私たちの手で創るために、G7 及び世界各国のリーダー、そして世界中の市民に、このメッセージが届くことを願います。



【参 照】▼みんなの市民サミット 2023

<https://hiroshimacsummit2023.mystrikingly.com/>

▼Civil7 2023 JAPAN

<https://civil7.org/>

▼C7 政策提言書 2023

https://civil7.org/wp-content/uploads/2023/04/C7_communique_JPN.pdf

▼G7 広島首脳宣言に対する市民社会の評価

<https://ig7-cso-coalition-japan-2023.mystrikingly.com/blog/230522-ngospac-c7-pressconference>

▼G7 広島首脳コミュニケ

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100507034.pdf>

▼核軍縮に関する G7 首脳広島ビジョン

<https://www.mofa.go.jp/files/100506522.pdf>

【連絡先】みんなの市民サミット 2023 共同代表 松原裕樹 (matsubara@npoc.or.jp)

Civil7 Steering Committee 堀内葵 (info@civil7.org)

13. Citizens' Declaration on Peace 2023

Citizens' Declaration on Peace 2023

6 August 2023

Citizens' Summit 2023
C7 (Civil)

This "Citizens Declaration on Peace 2023" is addressed by civil society organizations in and beyond Japan to appeal to world leaders and citizens to reconsider peace in light of the experience of the G7 Hiroshima Summit, and to realize it together.

We call on the G7 and other world leaders to make decisions and take action to ABOLISH nuclear weapons.

This year, the G7 Hiroshima Summit was held in Japan. In solidarity with a national and international civil society, we organized the Citizen's Summit 2023 in Hiroshima in April. To tackle various social issues, including nuclear disarmament, climate change, conflict, inequality, gender, people with disabilities, childcare, youth, SDGs, public procurement, history of Hiroshima, disaster prevention, and the direction of the G7, we held discussions among citizens from various backgrounds. In addition, at the C7 (Civil7), one of the official engagement groups of the G7 process, we established six working groups with over 700 civil society representatives from 72 countries, including on nuclear disarmament, to engage in dialogue and to make policy recommendations to the G7.

However, the G7 Leaders' Hiroshima Vision on Nuclear Disarmament issued by the G7 leaders was not what we - the citizens and *Hibakusha*, atomic bomb survivors, - expected, and we have to express our great disappointment and dismay. It might be premature to evaluate the G7 Hiroshima Summit at this point. It should also be noted that the variety of opinions on the evaluation of the Summit could be seen as a reflection of the civil society's diversity, which we value. However, it was clear from the G7 Hiroshima Summit that the G7 leaders do not aim at the abolition of nuclear weapons, and they discussed the arms transfer rather than a ceasefire between Ukraine and Russia. In addition, seven organisations of Hiroshima Hibakusha have expressed regret that the bag containing the device that commands a nuclear attack, the "nuclear button", was unabashedly brought into Hiroshima Peace Memorial Park, saying that this is a desecration and insult to the A-bombed city that tramples on the memorials of the A-bomb victims and their wish for nuclear weapons abolition.

It must be said that citizens are excluded from the democratic process and the will of the A-bomb survivors is neglected. Furthermore, in June, a sister park agreement between Hiroshima Peace Memorial Park and Pearl Harbor National Memorial was signed solely and hastily by the administrative decision, and many citizens do not understand this process and information. This is a crisis for the peace administration as the A-bombed city of Hiroshima.

As a result of these, the process of nuclear weapons abolition has regressed, and as citizens who have long appealed for the early abolition of nuclear weapons, we cannot accept the current situation. We continue to call on the Japanese Government and the nuclear-armed states to create a vision from nuclear disarmament to nuclear abolition and to sign and ratify the Prohibition of Nuclear Weapons (TPNW). And civil society will continue to be willing to engage in dialogue and policy cooperation with governments in order to realize a "sustainable society without nuclear weapons and leaving no one behind."

Here, we would like to think and act together with all citizens of the world. Let us look at peace not only in the distance but also around us, redefine the peace we want, and act to achieve it.

While we hope for the abolition of nuclear weapons, nine states in the world possess nuclear weapons and there are an estimated 12,705 warheads on the planet. And the reality is that many countries including Japan are under the nuclear umbrella of the United States and others. In addition, nuclear weapons are not merely a security issue, but also complex and serious problems,

as citizens are living with nuclear threats, such as being actually affected by nuclear testing or nuclear power plant accidents all over the world.

Before the Leaders' Summit, we, as C7, officially made the policy recommendations to the G7 on nuclear disarmament, climate and environmental justice, economic justice and transformation, global health, humanitarian assistance and conflict, and open and resilient society. Unfortunately, nevertheless, the G7 Hiroshima Summit Declaration did not incorporate many of the perspectives of civil society and was not something that citizens could appreciate. From a different perspective, it was an opportunity to reflect on the fact that civil society is still immature and is not yet fully equipped with the power and methods to improve our society. We have determined to improve and repeatedly build on this process. That is why the first step we propose is to redefine the citizens' idea of 'peace' once again.

After 78 years since the atomic bombings, we wonder if the peace proclaimed by the Prime Ministers and mayors at the Peace Memorial Ceremony in Hiroshima and Nagasaki truly represents the voice of citizens. Let us think, speak out, and act together on what kind of peace we, as citizens, hope for, and what are needed to realize it.

We hope that this message will reach the leaders of the G7 and other countries, as well as citizens around the world, in order to create a sustainable society without nuclear weapons, where no one is left behind, with our own hands.



References:

Citizens' Summit 2023

<https://hiroshimacsummit2023.mystrikingly.com/>

Civil7 2023 JAPAN

<https://civil7.org/>

C7 Communiqué 2023

https://civil7.org/wp-content/uploads/2023/04/C7_communique2023_0412.pdf

G7 Hiroshima Leaders' Communiqué

<https://www.mofa.go.jp/files/100506878.pdf>

G7 Leaders' Hiroshima Vision on Nuclear Disarmament

https://www.mofa.go.jp/dns/ac_d/page1e_000679.html

Contact:

Hiroki Matsubara, Co-organizer, Citizens' Summit 2023, matsubara@npc.or.jp

Aoi Horiuchi, Steering Committee, Civil7, info@civil7.org

#わたしの平和宣言2023

世界中の市民の皆さん

「市民の平和宣言2023」のメッセージを受け取っていただきありがとうございます。

ぜひ、皆さん自身が考えて望む、

平和 について、

ハッシュタグ「**#わたしの平和宣言2023**」を付けて発信してください！